

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	日曹コテツフロアブル
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
FAX 番号	03-3245-6084
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
SDS 作成日	1996年06月21日
SDS 改訂日	2023年02月14日(08版)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	急性毒性（経口）	区分3
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分4
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2（中枢神経系）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（中枢神経系）
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分1

ラベル要素

絵表示（GHS JP）



注意喚起語（GHS JP）

： 危険

危険有害性（GHS JP）

： 飲み込むと有毒
吸入すると有害
臓器の障害のおそれ（中枢神経系）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（中枢神経系）
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き（GHS JP）

安全対策

： 蒸気、ミスト、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。

管理番号：N0-5705600

- 応急措置：
 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
 特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。
 口をすすぐこと。
 漏出物を回収すること。
- 保管：
 施錠して保管すること。
- 廃棄：
 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

他の危険有害性

- 他の危険有害性：
 アレルギー反応を起こす可能性がある含有物：5-クロロ-2-メチル-4-イソチアズリン-3-オンと2-メチル-2H-イソチアズール-3-オンの混合物。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別：
 混合物
- 一般名：
 農薬製品、殺虫剤、懸濁液 (SC)

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
4-ブ ^o ロモ-2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル-5-トリフロオメチルピ ^o ロル-3-カルボ ^o ニトリル	10.0	末尾に記載	(5)-6557	8-(1)-2298	122453-73-0
ホルムアルデ ^o ヒド ^o ・(石油残差の接触改質留分)スルホ ^o ン化合物重合物のナトリウム塩	< 5	(CH ₂ O ₂ .Na .Unspecified) _x	—	—	68425-94-5
5-クロロ-2-メチル-4-イソチアズリン-3-オンと2-メチル-2H-イソチアズール-3-オンの混合物	< 0.01	—	(5)-5235, (9)-378	なし(公表化学物質扱い)	55965-84-9
プロピレングリコール	<10	CH ₃ CH(OH))CH ₂ OH	(2)-234	なし(公表化学物質扱い)	57-55-6

《4-ブ^oロモ-2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル-5-トリフロオメチルピ^oロル-3-カルボ^oニトリルの別名》

クロルフェナピル

《プロピレングリコールの別名》

1,2-ジヒドロキシプロパン, 1,2-プロパンジオール

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合：
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴を直ちに脱ぐこと。
多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
直ちに医師の診察／手当てを受けること。
無理に吐かせてはいけない。
：直ちに口をすすぎ 200 - 300 ml の水を飲ませた後、無理に吐かせたりせず直ちに医師の診断を受ける。容器またはラベルを示すこと。医師の指示がない限り、吐かせないこと。直ちに患者を病院に連れていくこと。最低7日間の医療監視を行うこと。
- 応急措置をする者の保護：救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き（回復体位）で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに置き替える。

医師に対する特別な注意事項

- 医師に対する特別な注意事項：症状：症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能な GHS ラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。他の症状や影響については現時点で知られていない。
中毒症状は数時間又は数日後に現れることがある。
処置：症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：水噴霧
炭酸ガス消火剤
泡消火剤
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤：棒状放水。
- 火災危険性：火災の場合、次の物質が放出される可能性がある。一酸化炭素、二酸化炭素、臭化水素、塩化水素、フッ化水素、窒素酸化物、硫黄酸化物、シリカ化合物、ハロゲン化合物、アルミニウム化合物
- 消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
燃焼により毒性・有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用すること。
消火作業は風上から行う。
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動できない場合、容器に放水し、冷却する。
- ：汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分すること。
火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。
- 消火を行う者の保護：自給式呼吸器および化学物質用防護服を着用する。
-

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置

- ： 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
十分な換気を確保する。
風上から近づく。
{0|message=<適切な適用条件を指定>|default=粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレー|filter=^(_)?_INHAL_CONDITION_.+}の吸入を避けること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項

- ： 排水溝や河川に流さない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ： 少量の場合：吸着剤に吸収させ回収し処分する（例：砂、おが屑、珪藻土）。
大量の場合：せき止める。ポンプで容器に回収する。
法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

- ： 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
ラベルの記載以外には使用しないこと。
十分な換気を確保する。
飲食場所に入る前に、汚れた衣服や保護具は脱ぐこと。
不燃性である。爆発性なし。

接触回避

- ： 「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。

衛生対策

- ： 最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。

保管

安全な保管条件

- ： 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な場所に保管すること。
施錠して保管すること。
食品、飲料、動物用の餌からは離して保管すること。

管理番号：N0-5705600

医薬用外劇物であり、盗難・紛失の際は、警察に届け出ること。

0℃以下にならないように保護すること。

本品は限界温度以下では結晶化する可能性がある。

40℃以上にならないように保護すること。

物質/製品を指示温度以上に長期間保管すると製品特性が変化することがある。

安全な容器包装材料

： データなし

8. ばく露防止及び保護措置

《プロピレングリコール のデータ》

厚生労働省

管理濃度 : 設定されていない

日本産業衛生学会

許容濃度(産衛学会) : 設定されていない

年度 : 2021

ACGIH

許容濃度(ACGIH) : 設定されていない

年度 : 2021

設備対策

： 屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。

呼吸用保護具

： 低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：
有機、無機、酸性無機、アルカリ性化合物及び有毒粒子のガス/蒸気用複合フィルターEN 14387 タイプ ABEK-P3

手の保護具

： 長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）（保護指針に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること）：ニトリルゴム（0.4 mm）、クロロプレンゴム（0.5 mm）、ブチルゴム（0.7 mm）など。

眼の保護具

： ゴーグル
： （例 EN166）

皮膚及び身体の保護具

： 前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605 に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982 に従う。
上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
形状	： 水和性粘稠懸濁液体
色	： 類白色
臭い	： かすかな臭い、ビターアーモンド様の臭い
pH	： 6 - 8 (1%, 21℃)
融点	： データなし
凝固点	： 0 °C (溶媒)
沸点	： 100 °C (溶媒)
引火点	： 不燃性である。

自然発火点	: 520 °C
分解温度	: データなし
可燃性	: 不燃性
蒸気圧	: 23.3 hPa (20°C、溶媒)
相対密度	: データなし
密度	: 1.07 g/cm ³ (20°C)
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水: 分散可能
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発特性	: 爆発性なし。
爆発限界 (vol %)	: データなし
粘性率	: 68 mPa.s (20°C) (OECD 114)
動粘性率	: 63.551 mm ² /s
SADT	: > 75 °C Heat accumulation / Dewar 500 ml (SADT, UN-Test H.4, 28.4.4)
その他の性質	: 熱分解: 252° C, 240 kJ/kg, 310° C, 130 kJ/kg, 450° C, > 90 kJ/kg (DSC (OECD 113)) 国連輸送規則クラス 4.1 に従い、自己分解性物質ではない。
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 直射日光。高温。熱。
混触危険物質	: 強酸。強塩基。強酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

総合的な有害性情報	: 急性毒性の評価: 単回の経口摂取の後、顕著な毒性がある。短期間の吸入により中程度の毒性。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。 その他該当する毒性情報: 摂取後の報告されたヒトの健康への影響: 経口摂取直後の症状には、吐き気、嘔吐、発汗、腹痛。数日から10から14日遅れて現れるその後の症状には、眠気、頻脈、頻脈または不整脈、高血圧、発熱、発汗、筋肉のけいれん、筋肉のこわばり、手足の脱力(時には麻痺につながる)、肝臓および腎機能障害、肺炎、および突然の意識障害とそれに続く昏睡および心停止。誤用は致命的となる可能性がある。
急性毒性(経口)	: 飲み込むと有毒
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外)(気体) 吸入すると有害

日曹コテツフロアブル	
LD50 経口	>50~<300 mg/kg (マウス)
LD50 経皮 ラット	> 5000 mg/kg (OECD TG 402)

日曹コテツフロアブル	
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	2.62 mg/1/4h エアゾールで試験した(OECD TG 403)。

皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 区分に該当しない
刺激性なし (ウサギ、OECD TG 404)

日曹コテツフロアブル	
pH	6 - 8 (1%, 21°C)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
刺激性なし (ウサギ、OECD TG 405)

日曹コテツフロアブル	
pH	6 - 8 (1%, 21°C)

呼吸器感受性 : 分類できない

皮膚感受性 : 区分に該当しない
皮膚感作の可能性に関する証拠はない(マウスの局所リンパ節試験、LLNA)

生殖細胞変異原性 : 分類できない
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性 : 分類できない
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。各種の動物実験の結果は、発癌効果の兆候を示さなかった。

生殖毒性 : 分類できない
生殖毒性：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。発生毒性催奇形性の評価：本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害のおそれ(中枢神経系)
標的臓器：中枢神経系。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(中枢神経系)
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。記載物質に関する情報：4-プロモ-2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル-5-トリフルオロメチルピロール-3-カルボニリル(別名クロルフェナピル)：反復ばく露により、特定の臓器に影響する可能性がある。中枢神経系に影響を与える。5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オンと2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オンの混合物：反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

誤えん有害性 : 分類できない
予測される吸入危険性はない。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

日曹コテツフロアブル	
動粘性率	63.551 mm ² /s

12. 環境影響情報

生態毒性

- 総合的な環境影響情報 : 前処理なしに河川等に流してはならない。
 水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に非常に強い毒性
 水生環境有害性 長期(慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

日曹コテツフロアブル	
LC50 - 魚 [1]	0.463 mg/l (コイ(学名: Cyprinus carpio)、96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	0.0407 mg/l (オシロイソデ(学名: Daphnia magna)、48hr)
EC50 72h - 藻類 [1]	126 mg/l (緑藻(学名: Pseudokirchneriella subcapit))
NOEC (慢性)	0.772 mg/l (緑藻(学名: Pseudokirchneriella subcapit)、72hr)

4-プロピル 2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル 5-トリフロロメチルピロール 3-カルボニトリル	
NOEC (慢性)	0.000172 mg/l (ミシドプシバ(学名: Mysidopsis bah)、28日)
NOEC 魚 慢性	0.003678 mg/l (ニシマス(学名: Oncorhynchus mykiss)、93日)

残留性・分解性

日曹コテツフロアブル	
残留性・分解性	データなし

4-プロピル 2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル 5-トリフロロメチルピロール 3-カルボニトリル	
残留性・分解性	容易に生分解しない。

生体蓄積性

日曹コテツフロアブル	
生体蓄積性	データなし

4-プロピル 2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル 5-トリフロロメチルピロール 3-カルボニトリル	
生体蓄積性	濃縮度は低い。
BCF - 魚 [1]	116 (コイ)

土壌中の移動性

日曹コテツフロアブル	
土壌中の移動性	データなし

4-プロピル 2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル 5-トリフロロメチルピロール 3-カルボニトリル	
土壌中の移動性	土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性 : 分類できない
その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

- 海上規制情報 : IMOの規定に従う。
航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。
国連番号 : 2902
正式輸送品名 : その他の殺虫殺菌剤類（液体）（毒性のもの）（他に品名が明示されているものを除く。）
国連分類 : 6
容器等級 : III
海洋汚染物質 :



適用される

国内規制

- 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
- 特別な輸送上の注意 : 荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起らないように積載・輸送する。
- その他の情報 : 補足情報なし。

15. 適用法令

国内法令

- 化審法 : 優先評価化学物質（法第2条第5項）
プロパン-1, 2-ジオール
- 労働安全衛生法 : 通知対象物質 非該当
表示対象物質 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 劇物（指定令第2条）
有機シアン化合物及びこれを含有する製剤
- 消防法 : 非該当

管理番号：N0-5705600

道路法	：	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	：	【改正後 令和5年4月1日以降】 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） 4-ブロモ-2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル-5-(トリフルオロメチル)ピロール-3-カルボニトリル（別名クロールフェナピル）（管理番号：722）（10%）
農薬取締法	：	該当

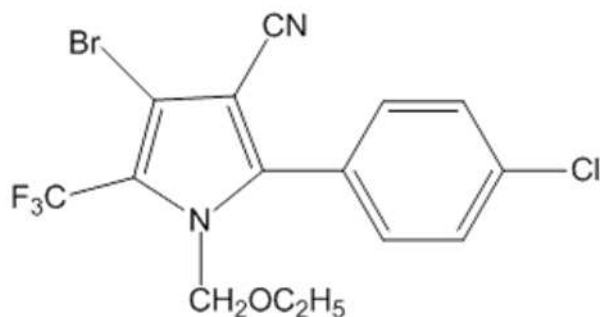
16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）			
中毒110番 一般市民専用電話	（大阪）	072-727-2499（情報料無料）	365日24時間対応
	（つくば）	029-852-9999（情報料無料）	365日9～21時対応
医療機関専用有料電話	（大阪）	072-726-9923（1件2000円）	365日24時間対応
	（つくば）	029-851-9999（1件2000円）	365日9～21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。



CAS 番号：122453-73-0

化学名：4-ブロモ-2-(4-クロロフェニル)-1-エトキシメチル-5-トリフルオロメチルピロール-3-カルボニトリル